

OKAYAMA UNIVERSITY
ACADEMIC CAPITAL
FOUNDATION 2021

令和3年度
岡山大学学都基金
活動報告書



岡山大学学都基金事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL: 086-251-7009 FAX: 086-251-7294

E-mail: kikin@adm.okayama-u.ac.jp



岡山大学学都基金

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/>



ご支援へのお礼とお願い

国立大学法人岡山大学長 榎野 博史



平素より、岡山大学学都基金を通じて、本学の教育研究・社会貢献活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年度に続き令和3年度もまた、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、依然として社会に大きな影響を与えた1年となりました。本学では、感染拡大防止と教育・研究活動の維持継続に向けて、新型コロナウイルス対策本部による一元的な対策を行って参りました。また、学生、教職員、教職員の家族に加え、近隣大学、短期大学、企業等の方々を対象として新型コロナワクチンの大学拠点接種を実施しました。

学都基金では引き続き新型コロナウイルス感染症関連支援基金によりご支援のお願いをさせていただき、多くのご寄付を賜りました。これまでにいただいたご支援金により、コロナ禍で経済的な影響を受けている本学学生と地域の飲食店の双方を支援することを目的としたプロジェクト支援、オンライン授業の受講が困難な学生へのWi-Fiルーターの貸し出し等の学生支援、新型コロナウイルス感染症の治療方法、診断方法、検査体制等に対する研究支援を継続することができました。温かいご支援に心より御礼申し上げます。

現在、岡山大学は、地域と地球のありたい未来を共創し、世界の革新に寄与することを長期ビジョン2050として掲げています。令和4年度には、その象徴的な建物として、本学の特別招聘教授である建築家の隈研吾氏の監修による木造建築「岡山大学共育共創 commons」が完成予定です。建設にあたり、令和3年度に学都基金に岡山大学共育共創 commons 建設支援基金を設け、ご支援のお願いをさせていただいております。既に多くの皆さまからご賛同ご支援を賜りましたことを、深く感謝申し上げます。完成後は、地域や企業の皆さまとともに、学びあい交流できる「みんなのイノベーション空間」として、ありたい未来を共に育み共に創るための皆さまの活動拠点として参ります。

卒業生をはじめ、広く地域・社会その他諸方面の皆さま方のお力添えのもと、引き続き岡山大学の発展に努めて参りますので、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

岡山大学学都基金について

■ 設置目的

岡山大学学都基金は、本学における学生支援、教育・研究活動、国際交流及び社会貢献活動の一層の充実を図るとともに、新たな価値を創造し続けるSDGs推進研究大学の進展等に資することを目的として設置しております。

■ 設置経緯、募集開始

本基金は、平成20年4月に設置された「岡山大学21夢基金」を再構築する形で平成27年4月から募金を開始し、ご支援のお願いをさせていただいております。

■ 管理運営方法

岡山大学学都基金管理運営委員会で事業計画などを審議し、その決定に従って支出されます。基金の運営状況については、岡山大学学都基金のウェブサイトで公開いたします。

■ 支援事業について

岡山大学学都基金全般へのご寄付については、主に以下の事業支援のために活用させていただいております。

- 学生支援に関する事業
- 地域振興・社会貢献活動への支援事業
- 教育・研究活動への支援事業
- SDGs推進に関する支援事業
- 国際交流活動への支援事業
- その他基金の目的達成に必要な事業

その他、事業のご指定がある場合には、ご寄付の趣旨に沿った事業支援のために活用させていただきます。

【特定基金】

- 岡山大学共育共創 commons 建設支援基金
(令和4年8月31日まで)
- 修学支援基金(税額控除制度対象)
- 研究等支援基金(税額控除制度対象)
- 新型コロナウイルス感染症関連支援基金
- 異分野基礎科学研究所次世代革新科学技術展開支援基金



新型コロナウイルス感染症関連支援

本学では、令和2年度より、新型コロナウイルス感染症関連の緊急支援として、修学支援、大学病院支援、研究支援、その他の支援を行うため、皆さまにご支援のお願いをさせていただき、多くの方々から多大なご寄付をいただきました。令和3年度も引き続き本基金へのご支援のお願いをさせていただき、学生の支援、研究支援に活用させていただきました。

現在までのご支援に心から御礼申し上げますとともに、今後とも皆さま方のご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

オンライン授業受講のためのインターネット環境確保支援

緊急事態宣言の発令に伴い、授業は全てオンライン授業(対面授業停止)、学生の入構が原則禁止となりました。そのことを受けて、自宅等にインターネット環境が用意できない学生がオンライン授業を受講できない状態となったため、学生の公平な学修機会を確保することを目的として、オンライン授業を受講することが難しい学生に対して、Wi-Fiルーターを貸与し、学都基金からレンタル代などの経費を支援しました。

学生寮クラスター防止強化支援

学生寮においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じているものの、共有部分(台所、風呂、トイレ)があることから、完全に他人との接触を防ぐのは難しい状況となっています。学生寮におけるクラスターを防止するため、濃厚接触者判明時から保健所による隔離解除指示まで(約1週間～2週間)のホテル宿泊経費を学都基金から支援しました。

感染予防対策支援(学生への携帯用消毒アルコール配布)

授業、実習・実験、研究及び日々の大学生活を送る上で手指消毒の励行を促すことにより感染予防の徹底を図るため、本学の全学生約13,000人へ携帯用消毒アルコールジェルを配布し、学都基金からアルコールジェルに要する経費を支援しました。



▲学生に配布したアルコールジェルと大学のロゴマーク入りコードリール

学生×地域『食』で応援プロジェクト事業支援

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、アルバイトなどができず、バランスの取れた食事が取れていない学生を対象に、お弁当の配布という形で食支援を行いました。令和3年6月7日(月)から2週間(平日の10日間)、7店舗と連携して合計約4,500食(平均で1日約450食)のお弁当を配布しました。コロナ禍で経済的な影響を受けている本学学生と地域の飲食店の双方を支援することを目的としたこのプロジェクトに対して、学都基金からお弁当などの経費を支援しました。



▲学生証で本学の学生であることを確認し弁当を渡す様子



▲感染防止対策のため配布場所を2か所に設置(体育館前)



▲感染防止対策のため配布場所を2か所に設置(生協前)



▲配布したお弁当

感謝の声

【受け取った人の声】

飲食店でバイトをする予定でしたが、飲食店も閉店しているためバイトもできず経済的に困ってました。このような機会があると、みんなでコロナ禍を乗り越えようという気持ちになれます。久しぶりに友人の顔を見られたのも良かったです。
[教育学部1年(支援時)]

【販売スタッフの声】

もっと多くの店舗から調達したかったのですが、休業している店も多く、深刻さがわかりました。参加店舗には喜んでもらえて嬉しくなりました。
[男子ラクロス部員2年(支援時)]

【参加店舗の声】

お客の8割が学生。6月は休業して宅配だけだったので助かります。

新型コロナウイルス感染症関連研究支援

三井住友信託銀行株式会社様が、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、ワクチン・治療薬の開発等を行っている大学の支援を目的として開設した「新型コロナワクチン・治療薬開発寄付口座」への本学へのご寄付に基づき、①新型コロナウイルス感染症に関するワクチン・治療薬の研究開発、②同感染症の治療方法、診断方法、検査体制等の研究、③その他同感染症を克服するための研究への支援に活用させていただいております。

■新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査
 学術研究院医歯薬学域 教授 頼藤 貴志



▲接種会場入口



▲問診の様子

感謝の声

岡山大学における大学拠点接種で行った、武田/モデルナ社新型コロナワクチン接種後の副反応調査にあたり、ご支援をいただきました。ご寄付いただいた皆様により感謝申し上げます。お陰様で、のべ7,205人という多くの方から調査回答を得て、副反応の出現頻度やワクチン接種に対する満足度について報告書を作成することができました (<https://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=4923>)。本大学拠点接種に参加した本学関係者へのフィードバックとともに、各種報道を通じて、一般の方々にも副反応に関する正しい情報を提供できたのではないかと考えております。引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する活動及び研究に邁進してまいります。

[学術研究院医歯薬学域 疫学・衛生学分野]

■COVID-19肺炎の重症化抑制を目的としたテブレノン療法の第II相ランダム化比較探索的臨床試験(jRCTs061200002)
 岡山大学病院 講師 市原 英基

■ラドン療法による新型コロナウイルス感染症の予防と症状改善に関する基礎的研究
 学術研究院保健学域 教授(特任) 山岡 聖典

■人工知能を用いた胸部X線画像による新型コロナ肺炎の診断システム
 学術研究院医歯薬学域 教授 河原 祥朗

学都基金を活用した学生支援・研究支援

博士後期課程大学院生支援

入試の成績が優秀な学生に対し経済的支援を行うことにより、大学院博士後期課程への進学を促すために給付型の奨学金を支給しました。

- 岡山大学大学院博士後期課程就学支援奨学金(計18人)
 支給対象:平成31年4月以降に優秀な成績で入学した日本国籍または日本国の永住権を有する学生
 支給額:1人あたり年額60万円
- 岡山大学大学院博士後期課程遠隔地社会人学生支援奨学金(計4人)
 支給対象:平成31年4月以降に優秀な成績で入学し、遠隔地から通学する社会人学生
 支給額:1人あたり月額1~2万円(職場又は自宅から大学までの距離に応じた額)

感謝の声

私は親から博士後期課程に進むのであれば、授業料や生活費の援助をするつもりはないと言われており、アルバイトをしながら研究に励むことができたのが悩んでいました。しかし、今回の奨学金に採用していただき、アルバイトをせず研究に専念することができました。私が令和3年度の一年間、研究だけに専念できたのは、このような奨学金をいただいたおかげであり、心から感謝しています。

[自然科学研究科博士後期課程1年(支援時)]

学都基金奨学金(学部学生への修学支援)

本学の教育活動の推進及び経済的支援を行うことを目的として「学都基金奨学金」を創設し、支給要件を満たす11人の学生に対して、奨学金を支給しました。

支給対象:令和3年10月入学のグローバル・ディスカバリー・プログラム学生



▲自宅で勉強する学生



▲オンライン授業の様子

感謝の声

岡山大学学都基金から奨学金をいただき、大変嬉しく思います。気持ちがとても楽になり、学業に集中できるようになりました。この奨学金のおかげで、学期が始まったときの授業料について心配することなく、大学生活に順応することができました。奨学金をありがとうございました。

[グローバル・ディスカバリー・プログラム1年(支援時)]

学内ワークスタディ事業支援

雇用時期の直前に授業料免除を受けた学部学生、大学院生(私費外国人留学生含む)が①～⑦のいずれかの学内業務に非常勤職員として従事することで、職業意識等の育成を図り、より一層の経済的支援を行うための経費の一部を学都基金から支援しました。

- ①言語カフェの運営支援業務
- ②附属図書館窓口等業務
- ③障がい学生の修学支援業務
- ④学内出土文化財を活用した調査整理業務
- ⑤外国人留学生支援業務
- ⑥学生支援業務
- ⑦研究補助業務

感謝の声

私は1年間、岡山大学附属図書館の時間外アルバイトとして勤務しました。ほかのアルバイトと比べて学業との両立がしやすいため、大学生活の中で一番力を入れた学業を疎かにせず働くことができました。私は令和2年度に入学し、コロナの流行で大学の施設に入れなかったため、1年次では図書館にほとんど行っていませんでした。このアルバイトのおかげでより図書館を利用するようになり、勉強などに役立っています。

[環境理工学部環境デザイン工学科2年(支援時)]

岡山大学校友会クラブ活動支援

岡山大学校友会の各クラブの活動において、各クラブ独自の部費では賄うことが難しい施設・設備の補修や物品・機材等の購入を中心に支援しました。



▲ロッカーダイヤル錠



▲防球ネット



▲サッカー場内防球ネット修繕

感謝の声

おかげさまで以前より安全に効率のよい練習をすることができるようになりました。硬式野球部として目標を達成できるよう、より一層練習に励んでいきたいと思っております。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。今回は本当にありがとうございました。

[硬式野球部一同]

ラクロスの球は非常に危険で、当たれば怪我は免れません。防球ネットを修繕していただいたことで、安全性、練習効率の向上という点からも我々男子ラクロス部一同は大変嬉しく感じています。今回は本当にありがとうございました。

[男子ラクロス部一同]

グローバル人材育成特別コース支援

グローバル人材育成特別コースを履修する学生で、海外留学、海外研修等の海外派遣により、所定の申請資格を満たしたのについて、グローバル人材育成院において審査及び支給者の決定を行い、奨学金を支給しました。



▲語学研修・異文化をオンラインで体験(グアム大学)

感謝の声

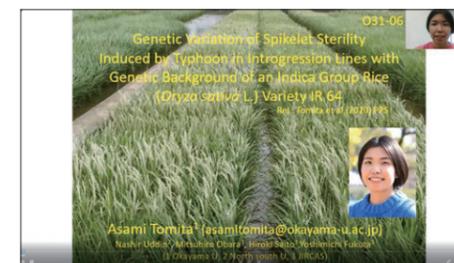
今回の研修では、英語の能力だけでなく、グアムの文化や新しい考えを多く学ぶことができました。研修の中で、グアム大学の友達もできて、今でも交流が続いています。一緒に研修をした人たちは皆自主的に参加しているので、とてもやる気がある人ばかりでした。そんな周りの人の向上意識に影響され、私も積極的に授業に参加し、自分の能力を高めることができました。大学生になったら留学に行きたいとずっと思っていたのですが、コロナのために実際に渡航することは難しい状況にあります。そこで、私は今の自分にできることにすべて挑戦しよう決めました。

今回の研修は、大学生になって初めての大きな挑戦でしたが、参加して本当に良かったと思います。自分にとって、とても良い経験になりました。奨学金のご支援をいただきありがとうございました。

[法学部法学科1年(支援時)]

ダイバーシティ&インクルージョン推進活動支援

ダイバーシティ推進本部では、令和3年5月に制定した「ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」に基づき、D&I企画推進委員会と協力して、様々な施策を実施しています。特に男女共同参画室では、ダイバーシティ研究環境の実現を目指した女性教員数の増加、女性教員の上位職への登用の実現に向けて、女性研究者の研究力向上を促すための助成金制度を設けており、学都基金からその一部を支援しました。



▲学会参加の様子



▲学会参加の様子

ご寄付をいただいた皆さまからのメッセージ

ご寄付者の皆さまからいただいたメッセージの一部を紹介させていただきます。

私自身、岡山大学を卒業し、企業活動や社会活動を推進するなかで、大学や地域とのさまざまな交流・連携によって課題解決を図って参りました。このたび岡山大学の新たなシンボルとなる「共有共創コモンズ」が建設されるにあたり、グローバルな視野を持った答えのない課題に挑戦する高い志を持った、地域や社会に貢献する人材が一層輩出されることを期待しています。

株式会社システムズナカシマ創業者
ナカシマホールディングス株式会社 代表取締役会長 中島 博 様

諸君、夢を見ましょう。
半年先のささやかな夢でも、一生を通して目指す大それた夢でもいい。
あわてずにゆくりと
夢に向かって進みましょう。
青春の夢へエールの恩送り。

私は大学で人生のチャンスを得ました。
コロナの影響が長引き、学生さんへの影響が心配です。チャンスは時に予想外の困難に阻まれるけれど、生きて、学んで、はばたく力を大学で身につけて欲しい。
がんばれ岡大生!

岡山大学の活動に役立てていただけると幸いです。この頃は時々インターネットで、キャンパスの銀杏並木や、時計台のある図書館の風景を楽しんでいます。これからも岡山大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

修了して50年近くになりますが、今の私があるのは岡山大学で学んだお蔭です。
大学と学生の方々の更なる飛躍を期待しています。

岡大が世界に誇れる学府となること、願ってやみません。
素晴らしい建物ができることを大変うれしく思います。

母校がますます学生の学びやすい環境になり、羨ましくもあり、非常に喜ばしく思います。
私自身もこちらの大学の卒業生として相応しい人物となれるよう引き続き精進したいと思います。

金光基金顕彰事業

金光富男様(本学2期卒業生)からいただいた寄付金をもとに、平成30年に岡山大学学都基金「金光基金」を設置し、金光基金顕彰事業(金光功労賞、金光奨励賞、金光賞)を実施しています。*金光奨励賞は令和3年度から実施

【金光功労賞】本学や社会に貢献し、顕著な功績や善行のあった同窓生及び退職者を含む教職員を対象として顕彰

【金光奨励賞】本学や社会に貢献し、顕著な研究成果等を上げた同窓生及び教職員(区分1)、他の教職員の模範となるような実践により特に顕著な成果を上げた同窓生及び教職員(区分2)(いずれも団体を含む)を対象として顕彰

【金光賞】博士課程・博士後期課程に在学中で顕著な研究業績等を上げた大学院生、学業成績が優秀で留学等の国際的な活動に優れた学部学生を対象として顕彰



▲第4回金光賞授賞式の様子



▲第4回金光功労賞・第1回金光奨励賞受賞者

受賞者一覧

(敬称略)

第4回金光功労賞被顕彰者

所属・職名	卒業年月・卒業学部	氏名
岡山済生会総合病院 名誉院長	昭和39年3月 医学部卒業	糸島 達也

第4回金光賞被顕彰者(学部学生:14名、大学院生:7名)

学部・学科	氏名	研究科・課程等	氏名
文学部 人文学科	足立 遼太郎	教育学研究科(修士課程)	内田 佳那
教育学部 学校教育教員養成課程	菰口 翔太	教育科学専攻	
法学部 法学科	尾原 玲花	社会文化科学研究科(博士後期課程)	趙 師哲
経済学部 経済学科	岡本 真	社会文化科学専攻	
理学部 物理学科	田野 智大	自然科学研究科(博士後期課程)	柴田 孝祐
医学部 医学科	田中 結衣	数理物理学専攻	
医学部 保健学科	川畑 遥	保健学研究科(博士後期課程)	横溝 珠実
歯学部 歯学科	谷口 真布	保健学専攻	
薬学部 薬学科	浜野 早紀	環境生命科学研究科(博士後期課程)	山神 将大
薬学部 創薬科学科	工藤 万結	環境科学専攻	
工学部 機械システム系学科	清水 優椰	医歯薬学総合研究科(博士後期課程)	金城 那香
環境理工学部 環境デザイン工学科	丸尾 大樹	薬科学専攻	
農学部 総合農業科学科	藤井 結	ヘルスシステム統合科学研究科(博士後期課程)	井上 勝喜
グローバル・ディスカバリー・プログラム	TAN Ju Sheng	ヘルスシステム統合科学専攻	

第1回金光奨励賞被顕彰者

【区分1】(個人)

所属・職名	氏名
学術研究院自然科学学域 助教	俣野 和明
株式会社ABABA 代表取締役(令和3年3月 理学部卒業)	久保 駿貴

【区分2】(個人)

所属・職名	氏名
総務・企画部社会連携課 総括主査	真田 明
総務・企画部大学改革推進課 主任	平尾 真也

【区分2】(団体)

団体名	代表者職名	代表者氏名
研究推進機構及び研究協力部の若手職員	副理事(研究・産学共創担当)・事務局調整役・研究推進機構副機構長	三野 元靖

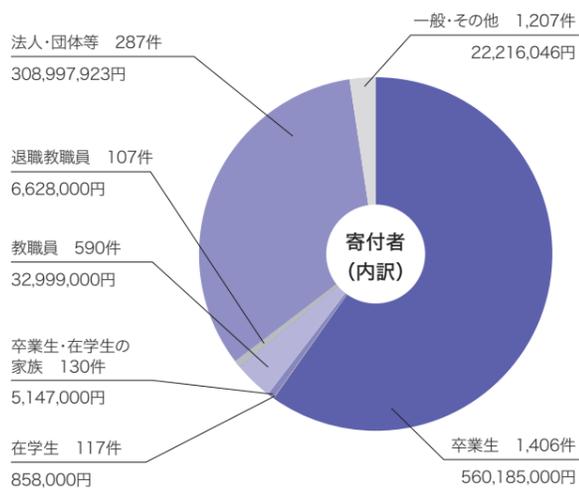
岡山大学学都基金 実績報告 [寄付額]

岡山大学学都基金にご寄付を賜り誠にありがとうございます。岡山大学学都基金へのご寄付は、ご寄付の趣旨に沿った本学の諸活動を支える財源として活用させていただくとともに、本学における学生支援、教育・研究活動、国際交流及び社会貢献活動の一層の充実をはかる事業の支援に充てさせていただいております。

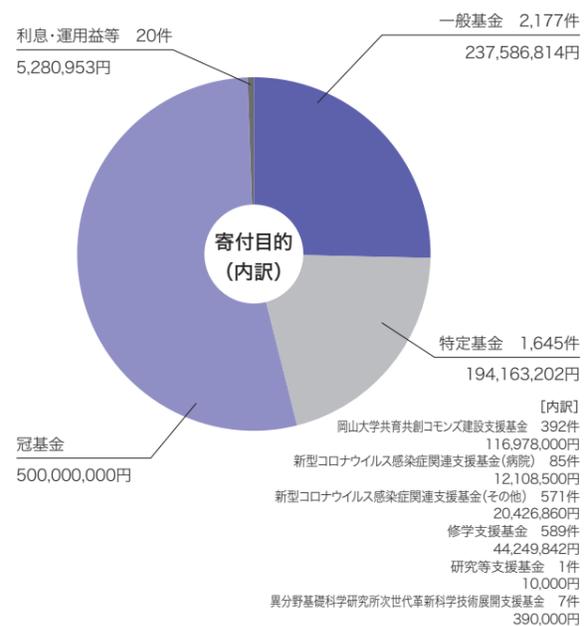


累計

■寄付者(内訳)



■寄付目的(内訳)



岡山大学学都基金 実績報告 [支出額]

令和3年度は、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で事業内容を変更した事業がある一方で、引き続き新型コロナウイルス感染症支援として学生支援、研究活動への支援、その他教育・研究活動への支援、国際交流活動への支援などを行うことができました。今後もご寄付の趣旨に沿った事業支援を行って参ります。



■一般基金 21,456,228円

- 学生支援に関する事業
- 教育・研究活動への支援事業
- 国際交流活動への支援事業
- その他の事業

■特定基金 7,743,991円

- 修学支援基金
- 新型コロナウイルス感染症関連支援基金

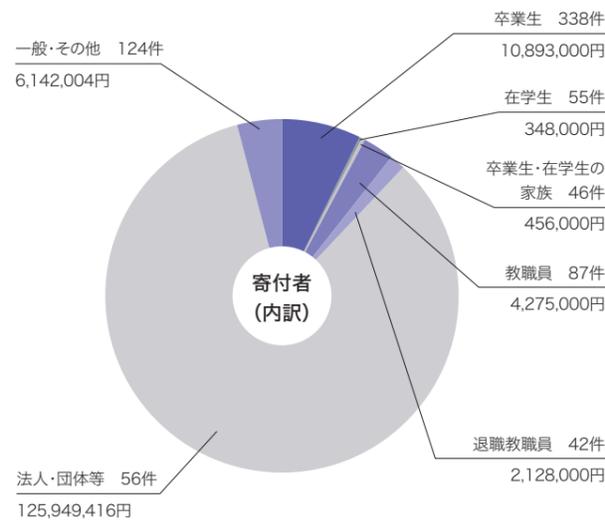
■冠基金(金光基金) 6,252,305円

- 金光基金顕彰事業
- グローバル・ディスカバリー・プログラム奨学金(留学生奨学金)

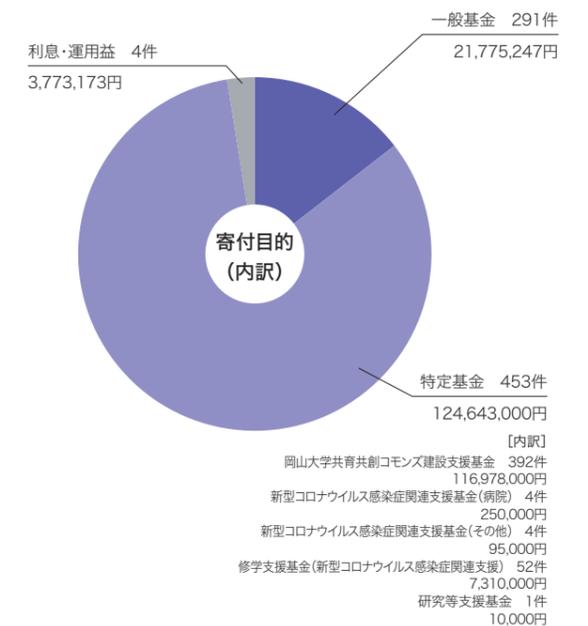


令和3年度収入

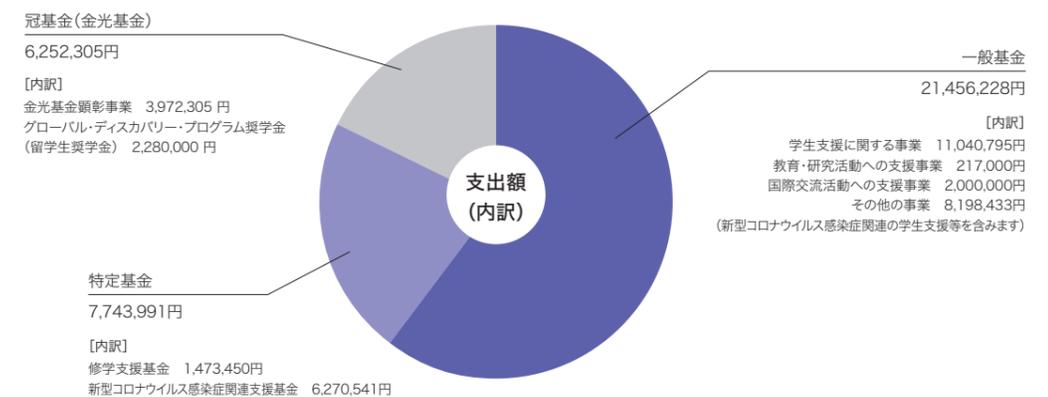
■寄付者(内訳)



■寄付目的(内訳)



支出



ご厚意への感謝について

■ご芳名の掲載

ご寄付いただいた皆さまのご芳名を、感謝の気持ちを込めて岡山大学学都基金のウェブサイトに掲載させていただきます。公表を希望されない方については掲載しておりません。

■銘板の掲示

一定額以上ご寄付いただいた皆さまのお名前を、岡山大学創立五十周年記念館の銘板に刻み、末永く顕彰させていただきます。



岡山大学学都基金寄付者御芳名(銘板)▶

プレート	個人	法人・団体等
ダイヤモンド	1,000万円以上	2,000万円以上
プラチナ	500万円以上	1,000万円以上
ゴールド	100万円以上	500万円以上
シルバー	50万円以上	200万円以上
ブロンズ	10万円以上	50万円以上

■感謝の集いへのご招待

個人20万円以上、法人・団体等100万円以上のご寄付をいただいた皆さまを、感謝の集いにお招きし、感謝の楯を贈呈いたします。



感謝の楯▶

■紺綬褒章

紺綬褒章は、国の褒章制度のひとつで、公益のために国、地方公共団体又は公益団体に私財(個人500万円以上、法人・団体1,000万円以上)を寄付した方に授与されるものです。本学では、ご寄付者のご意向を確認させていただき、文部科学省に申請することとしています。

お知らせ

■令和4年度事業計画

令和4年度は、以下の支出計画のもと、事業支援を行って参ります。

【学生支援に関する事業】

- 博士後期課程大学院生支援
- 学都基金奨学金
- 学内ワークスタディ事業支援
- 岡山大学校友会クラブ活動支援

【教育・研究活動への支援事業】

- 若手研究者海外渡航支援等
- 岡山大学ダイバーシティ&インクルージョン推進活動支援

【国際交流活動への支援事業】

- グローバル人材育成特別コース支援 [学部生の支援(奨学金等)]

■ご寄付の方法

払込取扱票によるご寄付

本学指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、ゆうちょ銀行の窓口または払込機能付きATMからお振込みください。別途、「払込取扱票」をお送りいたしますので、岡山大学学都基金事務局までご連絡ください。

オンライン決済によるご寄付

岡山大学学都基金のウェブサイトから、オンライン決済(クレジットカード決済・コンビニ決済・ペイジー決済)によるお手続きが可能です。

岡山大学学都基金 🔍 検索



遺贈によるご寄付

遺贈による寄付制度は、資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々に対して、本学が金融機関と提携して手続きの便宜を図らせていただく制度です。本制度のご利用を希望される場合は、岡山大学学都基金事務局までご連絡ください。

提携金融機関：三井住友信託銀行、中国銀行

■リサイクル募金のご案内

読み終えた本やDVD等で岡山大学をご支援ください。

リサイクル募金とは

皆さまから読み終えた本やDVD等をご提供いただき、その査定換金額を岡山大学学都基金に寄付する取り組みです。申込受付から査定・報告および送金は「リサイクル募金きしゃぼん」が担当します。

お申込み・お問い合わせは「きしゃぼん」へ

岡山大学 リサイクル募金 🔍 検索



お伝えください
団体 ID

88

https://kishapon.com/okayama-u/

☎ 0120-29-7000 (受付9~18時)

運営協賛：リサイクル募金きしゃぼん(嵯峨野株式会社) 埼玉県公安委員会 古物商許可証 第431100028608号

受付品目

次の方が気持ちよく使用できるきれいなものをお送りください。

※査定額は中古市場価格(需要と供給)で決まるため、状態が良くてもお値段がつかないこともあります。

本

ISBNコード 必須です。

値段がつきやすい本

- ・ロングセラー
- ・いま話題のもの
- ・専門書・実用書
- ・コミックセット

DVD・CD・ゲーム

ホビー カメラレンズ・模型

切手・ハガキ・年賀状

ブランド品・時計

貴金属 金・プラチナ・宝石を含むもの

※型が古くても、片方しかなくても構いません。